事業番号	06 02 01 事業改善シート (令和6年度実	施事業分)	□当初要求	■当初予	5算案 □補正予算案 □点検
事業名	地球温暖化対策事業費	部局	環境部	課·室	環境政策課ゼロカーボン推進室
尹 未 石	也	実施期間	H25 ∼	E-mail	zerocarbon @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

長野県ゼロカーボン戦略の目標(二酸化炭素を含む温室効果ガス正味排出量をR12(2030)年度にH22(2010)年度比6割減、R32(2050)年度にゼロ)を達成するため、徹底した省エネルギーの推進と再生可能エネルギーの導入が必要

- ・県内温室効果ガス正味排出量 R元(2019)実績:1,213万 t (H22比22%減) [R12目標:622万 t]
- ・県組織の温室効果ガス総排出量 R4(2022)実績:66,743 t (H22比16%減) [R12目標:30,000 t]

2 事業目的

2050年度までに二酸化炭素を含む温室効果ガス正味排出量をゼロにすることにより、今まで以上に快適で利便性が高く、持続可能な社会の実現を目指す

3 事業目的を達成するための取組

①産業分野の脱炭素化

·事業活動温暖化対策計画書制度(大規模事業者·中小規模事業者)

エネルギーを一定規模以上使用する事業者等に対し、3か年の計画書等の提出を義務付け、現地確認による省エネや再エネに関する助言、取組に応じた評価・表彰等、事業者の脱炭素化を総合的に支援

·省工ネ診断(中小規模事業者)

エネルギーの使用状況等に関する診断を行い、省エネ対策を提案するとともに、各種団体や金融機関等と連携した総合的な支援を検討

・エネルギー供給温暖化対策計画書制度

県内にエネルギー(電力)を供給する事業者に対し、3か年の計画書等の提出を義務付け、供給者側からの地球温暖化対策を 促進するとともに、需要家の低炭素電力への転換を促進

②県組織の脱炭素化(率先行動)

・第6次長野県職員率先実行計画の推進

県有施設の省エネ化、公用車の電動化、再生可能エネルギーの導入など、事務事業に伴う温室効果ガス排出量の削減や環境負荷の低減に率先して取り組む。

4 成果指標

(推移の凡例 / : 改善 > : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名		R3年度 R4年度		R5年度		R6年度	達成	目標値設定理由				
INO.	旧综石	単位	実績	実績	推移	見込値	推移	目標値	状況	口惊心故处连由			
1	事業活動温暖化対策計画書対象 事業者の温室効果ガス排出量削減 率 (制度上の基準年度比)	%	R 2 実績 (R元 比) 3.9%減	R3実績 (R元 比) 0.2%減	¥	R6.3 公表予定		R5実績 (R4比) 5.0%減		事業活動温暖化対策計画書制度において事業者の削減目安としているR4年度(基準年度)比5%削減を目標とする。			
2	県組織の温室効果ガス総排出量	t-CO2	66,818	66,743	7	R6.9 公表予定		50,734		第6次長野県職員率先実行計画においてR12 (2030) 年度に30,000t-CO2とすることを目標としており、R6年度は50,734t-CO2を目標とする。			

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

N	 施策分野(施策の総合的展開名)	達成目標	単位		直	近3カ	か年の状	目標			
IN	の 一	(★印が付いているものは主要目標)	丰位	年度	数值	年度	数值	年度	接數值 (219) 13,873 (21) 16.5 (22) 3.0	年度	数值
1-:	① 持続可能な脱炭素社会の創出	温室効果ガス総排出量	∓t-CO2	2017 (H29)	14,959	2018 (H30)	14,572	2019 (R1)	13,873	2027 (R9)	9,633
1-:	① 持続可能な脱炭素社会の創出	最終エネルギー消費量	万TJ	2017 (H29)	17.2	2018 (H30)	17.2	2019 (R1)	16.5	2027 (R9)	13.5
1-1	① 持続可能な脱炭素社会の創出	★再生可能エネルギー生産量	万TJ	2019 (R1)	2.8	2020 (R2)	2.9	2021 (R3)	3.0	2027 (R9)	3.7

6 事業コスト (単位:千円、人)

<u>U</u>	トレーチ	•					(单位, 10、人)	
				予算額					
区	分 	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源	決算額	職員数	
R6年度	予算案		94,568		94,568	89,737		6.1	
KU平/支	要求		104,812		104,812	99,977		0.1	
R5 ^全	度	983,275	107,976	310,786	1,402,037	81,914		6.1	
R4É	F度	0	88,052	1,424,599	1,512,651	47,906	525,039	6.1	
予算要求	求からの	/=.W.エカリギ つ:	カンド・ハー サンサ 声光	たらいて中状中の	3.4.日本1.34%	-			

予算要求からの 言州エネルギーマネジメント推進事業について実施内容を見直し減額

事業番号	06 02 01	細事業一覧(令和6年度実施事	業分)	□当初要求	■当初予	P.算案 □補正予算案 □点検
事 業 名	地球温明	爱化対策事業費	部局	環境部	課·室	環境政策課ゼロカーボン推進室

細事業 No.	細事業	R4年 当初予		R5年度 当初予算	R6年度 当初予算					
1	地球温暖化対策事業費			88,	052 千円	107,976 千円	予算案 要求	94,568 104,812 千円		
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	<u> </u> 容(予定)		: 事業概要、下段	<u> </u>				
1	信州エネルギーマネジメント推進事業	委託 直接 補助金	を同い合わせ対応や現地確認による助言等を実施(現地確認は40名程度を定) ・【拡】中小規模事業者を対象として省エネ診断を実施し、現状や対策について言(一部、国の省エネ最適化診断等を活用)							
2	直接 電力使用に伴う温室効果ガスの排出量を削減するため、小売電気事業者のネメニューを導入するほか、使用電力相当分の非化石証書を購入 温室効果ガス排出削減量:7,107t-CO2									
3	直接 【新】最適な配車と充電を平準化するための配車制御&充電マネジメントシステム 公用車充電・管理最適化事業 を導入 温室効果ガス排出削減量:132t-CO2									